

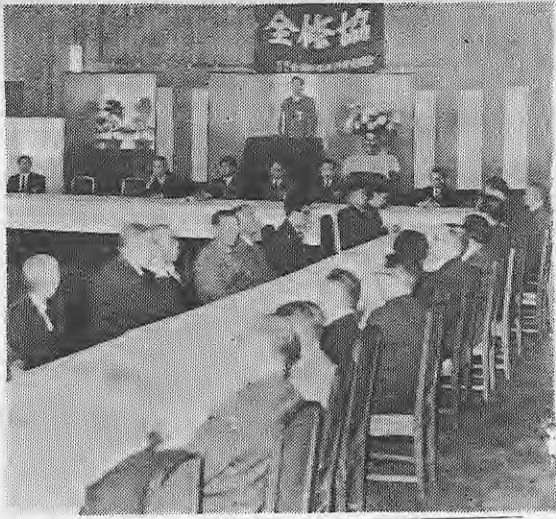
# 旅と文化

発行所  
財団法人全国修学旅行研究協会  
東京都千代田区  
神田神保町2-30  
電話(33)0163  
編集兼発行  
永井 照

## 設立記念式典開かる

### 厳肅にしかも和やかに

われわれの活動の公共性を物語る財団法人の許可を得たのを機会に、その設立記念式典が十一月廿一日午後三時から東京都文京区、茗荷会館で開かれた。折からわれらの前途を祝福するがごとく青一色に暗れ上つた空には一片の雲もなく、実すがすがしい秋空の下、全国の各都道府県支部長をはじめ協会員、来賓として文部省、教職員組合、国会議員、報道関係者など約百名が参加、まず永井事務局長から別項のような設立経過報告があり、次に山本理事長が立ち、修学旅行の教育的意義とその科学的調査研究の必要性について強調され、本協会設立運営の決意をのべて、来賓各位の御挨拶をうけ結ばれたとき、満場溢れるがごとく拍手がわきあがりつた。



会場に目を転ずれば、純白のテーブルカバーを前に、モロソ革の椅子の上に肅然と威儀を正している全国の支部長の類は思ひなし少年のように紅潮していた。恐らく多年の教育経験を経て、新たな感激に浸っていたことであろう。壇上には豪華な金屏風を立て、周囲に紅白の幕を回らし正面一際高く、全修協の大旗が飾られ、公益法人としてこの協会の発足に適した厳肅な気分が満ちたふん開きに包まれていた。その中で来賓の挨拶が行われ、文部省代表として初中中等教

育課柳川事務官より初中局長挨拶(別項)の代読があり、さらに東京都教育委員会小尾指導部長、荒木参議院議員、日教組委員長代理西塚福部次長などより、それぞれ別項のような挨拶があり、次いで、馬場理事より「修学旅行を通じてわが国教育の振興に寄与せんとするものである」旨の宣言が行われてのち祝賀に入つた。

## 祝辞

文部省初等中等局長 内藤誉三郎氏

修学旅行につきましては、近年一歩、修学旅行の手引を作成する幾多の問題を生じ、世間の関心を高めまいりました。文部省はかかつてまいりましたが、なお幾多の問題を醸成しているのではと料率の引下げ、旅館設備の向上と低廉金の実現を急進し図る必要がある。更に修学旅行が学校教育の一環であるとの立場から全員の参加の理想を表現するため、国家または公共団体の適切な措置を講ずるよう世論を喚ぶる要がある。しかし、これ等の諸問題は一つとして一朝一夕に表現するものではなく、学校は勿論修学旅行に関係する諸機関、一般世論の総力が解決の鍵となるであろう。われわれは全国組織の各位と協力して、最も切実な現場の問題から積み上げ、問題解決の原動力となり目的の完遂に邁進する決意である。

## 祝辞

参議院議員 荒木正三郎氏

本日出席しております国会議員は、衆議院の加藤清二君と、参議院の同僚荒木正三郎君と私の三人であります。お招きをうけました国会関係一同を代表してご挨拶を申し上げる機会を得ましたことは、まことに光榮と存じます。私も多く教育界の出身であり、教育行政のみならず、ことごとく教育に関心をもっているの故に、修学旅行の改善向上に組織的にのり出されたことは、国民の要望にこたへるものとして私どもは、事故の絶無を期して児童生徒全員が参加でき、愉快に気軽に、しかも十分の教育効果をあげるように実施することにつきましても、学校も父兄も、行政当局も、国会も一層の努力を要するものと考えております。この財団法人全国修学旅行研究協会が結成され、修学旅行の改善向上に組織的にのり出されたことは、国民の要望にこたへるものとして私どもは、事故の絶無を期して児童生徒全員が参加でき、愉快に気軽に、しかも十分の教育効果をあげるように実施することにつきましても、学校も父兄も、行政当局も、国会も一層の努力を要するものと考えております。

## 主張

### 財団法人の発足に際して

修学旅行は日本の教育上、他の国には見られない歴史と特別な重要な位置を占めている。しかも日常の学校教育と連動して、それが校外社会の実態の中で学習されるものであり、教育環境と教師以外の輸送機関及び宿泊設備・旅館等の厄介ならなければ実施出来ない。これは普通の教室学習と著しく趣を異にする特別教育活動である。それだけにこの教育計画実施の上には細心の注意と緻密な計画はもちろん諸関係機関との連絡提携という膨大な

苦勞が横たわつてゐる。その上、如何に完全な準備と計画があつても、想像し得ない大きな事故が突如する危険性をはらんでゐる。それだけに父兄、一般社会の関心と批判は最も強いものである。ところが実際には、教育の場においても、未だにレクリエーション的な考へから脱けきらず、特活習の真髓にふれることが少く、しかも事故の絶滅にいたつては国の積極的な配慮が見られない現状である。いうならば修学旅行は世の関心が強い反面、大きな一つ

## 祝辞

参議院議員 荒木正三郎氏

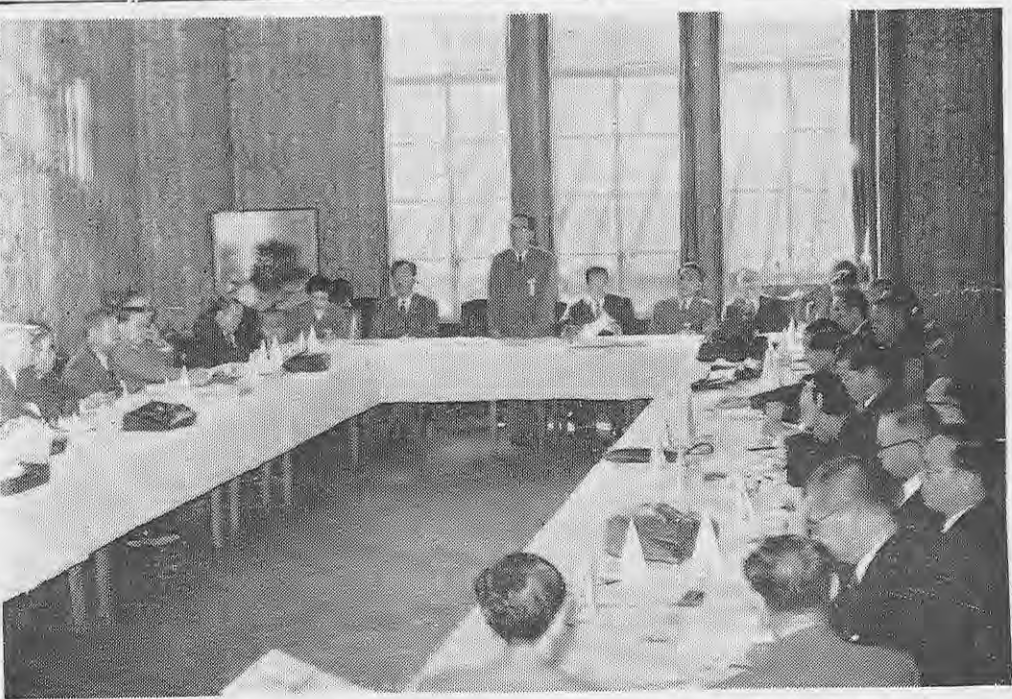
成果をあげられることを確信しここに祝辞をかえさせていただきます。修学旅行は、もつとも教育に深い愛情をもたれるみなさまによつて組織されておることば、誠に心強く感ずるものであります。言はば多く行はれたいと申しますが、さらに実効をあげるといふことには一層困難が加つてくることは当然です。この困難な目的達成のために一段の努力を傾けられるよう要望いたしますとともに私も国会に議員をもちつても、出来るだけの協力を御約束申しあげます。本協会の今後の発展を心から御祈りして祝辞といたします。

## 発刊のことば

「旅と文化」は目下ブライドの小冊子であり、研究結果等の連絡あるいは報告の要がありますので、機関紙としてここに「旅と文化」を発刊することになりました。旅行はたとえそれがレクリエーションとして行われるとしても訪ねる土地の風光はもろろ人間社会の歴史的、現実的な種々な化面に接しないわけにはいきません。まして教育の一環として行われる修学旅行は、成にご協力下さるようお願い致し発刊の言葉一面国土のあらゆる文化の学習であり、研究



山本理事長



立ちついでるのは山本理事長である。ていつ集まる同志はほとんど理事長の友情にかなうものばかり。質問も答弁もかなりつっこんだ発言だが誠に和氣あいあいであつた。

## 祝辞

同志として協力を 参議院議員 荒木正三郎氏

修学旅行は、もつとも教育に深い愛情をもたれるみなさまによつて組織されておることば、誠に心強く感ずるものであります。言はば多く行はれたいと申しますが、さらに実効をあげるといふことには一層困難が加つてくることは当然です。この困難な目的達成のために一段の努力を傾けられるよう要望いたしますとともに私も国会に議員をもちつても、出来るだけの協力を御約束申しあげます。本協会の今後の発展を心から御祈りして祝辞といたします。

# 修学旅行は

## 一生を支配する

東京都教育廳指導部長

小尾 虎雄氏

修学旅行や遠足については、児童の疲労や経済負担能力と児童の疲労や経済負担能力という点から、校種別学年別にそれぞれ基準をたてて行っているところが多い。したがって旅行のコースもおおむね定型ができてき、学校側としてもその取扱いに慣れてきたことは、本都の実状からいえる。一学校、一地方だけの問題としてではなく、全国的に考慮する必要がある。かつ、無理解をきたし、事故を起したり、実際の効果を減じたりするようになる。

また、中学校と高等学校の間に連絡がないため、中学三年でも関西、高校一年でも関西と、しかもほとんど同じコースをかけるで一巡するということもできなくなる。その一部には、旅行日数制限の緩和を要請してきている面もあるが、この点についても慎重な検討が必要であろう。たゞ、中学最高学年では具体的な実施の反省の上、小

費および日程をどの程度にとどめるのが適当であるか、また経費負担にたえないものに対してどんな手を打てばよいか、この問題も研究の価値があるものと考えられる。

旅行の時期についても、輸送当局との話し合いや、旅館の都合等を考慮して、一学校、一地方だけの問題としてではなく、全国的に考慮する必要がある。かつ、無理解をきたし、事故を起したり、実際の効果を減じたりするようになる。

以上は、学校行事との関連を頭にいれねばならず、一部に行われている卒業直後のPTA中心の修学旅行というところもわかに賛成はできない。

修学旅行の教育的効果をあげるために、東京都では慎重な研究の結果、かなり厚重な「修学旅行の手引」を作成して関係者の参考にしてほしい。しかしその具体的な実施の反省の上、小



設立記念祝賀会風景(来賓卓)

中高の教育段階に際しながら総合的な改善の途を見出すためには、今後一層の努力を重ねていかねばならない。実際、修学旅行は大きな問題であつて、政府関係当局をはじめ、学校、PTAはもとより、一般社会の後援と協力を得て、その向上改善をはかることは目下の急務である。最大重要事である。信する次第である。

### 日教組と修学旅行

日教組福対部副部長 西塚喜久美

本日全国修学旅行研究協会発足の記念総会にお招きをうけた日教組小林委員長の代理として私、日教組福対部副部長の西塚喜久美が、一言お祝いを申し上げます。

修学旅行は、教育効果の大きい価値を有するから、どの学校においても、計画し、実施している現状であります。

この修学旅行に幾多の問題点を残していることは、新聞ラジオ等に数多くの話題を投げかけている処からも明らかであります。

不可抗的な事故原因を持つていられるに拘わらず、専ら教師の責任を追求する傾向があるように、日教組としても重要な問題であるから本部内に修学旅行対策委員会を設置して、修学旅行全体の対策に万全を期すべく努力をされている次第であります。

その一つは、教育的観点からで

思つて修学旅行はスポーツであることもまた学習である。いわゆる「鍛錬」主義で押し通すこともいけないが、また「リクリエーション」本位に流れることも弊害である。そう堅くもならず、しかも節度と規律がまもられ、楽しく愉快にしかも社会見学の効果があるような修学旅行が、最も理想的なものと思つて、私の経験からすると、修学旅行によつて、始めて親の許をはなれ社会の実情に接したわけ、見るもの聞くものすべてが強い印象となつて若い頭脳に刻み込まれ、極めて貴重な出来事である。さういふ思いがこめられて、この印象がその後の成長に与えた影響力を考えると、実に修学旅行は人の一生を支配する

といつても過言ではないと思つて、これほどに重要な教育的意義のある修学旅行が、理想的に行われるためには、関係者としても平素からの研究と用意を怠らさず、社会一般も理解と協力を惜しまない空気を作つておく必要がある。

今回の重要な修学旅行問題解決のために、全国修学旅行研究協会が、財団法人として設立されたことは、まことに意義深いものと考え、喜びに堪えない。本協会の組織を見渡すと、各方面の優秀な方々が集まられ、とくに教育界に多年老練の腕を振られた方々が協力されているのを知り、実に力強く感ずるものである。

本協会成長と、実効ある活動を期して祝辞とする。

あります。児童生徒及び教師が心身共に教室をはなれた動的な実社会に進出した形においての教育活動であるから、あくまでも教育効果の大きい、より高い教育効果のあげられるよう工夫されねばならない。

そのために、各学校毎にその教育指導計画が系統的に計画的に樹立され、且つそれが前後の学習指導、特別教育活動指導と見合つて合理的に編成立案された上で、実施されなければならないと考えています。

第二には、学校教育の中における修学旅行の意義及び目的から該当者全員の参加することが望ましいので、費用の面で参加出来ない児童生徒が出てこないよう措置が講じられなければならない。

従来の残留者の特別指導を確立するといふ消極的態度を改め、全員参加の出来る目的地の選定及び計画と平行し、貧困児童に対する費用全額補助や、運賃及び宿泊料並びに視察料の割引

先ごろ全修協の設立総会に招かれたので、その席末に列するの光栄を得ました。型の如き会だろつと手馴れたところ、近ごろに味わつたことのない、私の乾いた心への滋味たつぷりの馳



設立総会当日の記念撮影(茗溪会館屋上)

理想的な修学旅行の実現を目指す。この信頼を博し、会員の期待に副い教育の側面援助でその効果を招く。来る真実の理念を具現するの。が近きにあるを想ひしめ、今後の発展が予見されて得もいれぬ。私一人の心映像ではあるまいと思つています。

### 本年度の事業計画

実地調査と支部強化を目標に

本年度は、この法人の設立第一年度であるから、まず修学旅行の基礎的な実地調査研究に重点を置き、併せてこの法人の基礎を強化するため維持員、賛助員等の会員の獲得と各府県単位の支部設置を図り、もつて逐年事業内容の拡充強化を図るものとする。

本年度の主な事業計画は、次の通りである。

- 一、修学旅行の実地調査に関する事業
  - (一) 調査対象 全国の国立、公立、私立の高等学校及び中学校の中から二十校を抽出して調査する。
  - (二) 調査内容 三十二年間に実施した修学旅行についての調査。
  - (三) 調査時期 本年度末あるいは来年度初め。
  - (四) 府県支部の設置 全国各府県単位の支部を設置。今年度会員数一、五〇〇名を獲得する。
  - (五) 各支部の規定は原則による(別項)。
  - (六) 支部設立に際しては設立規程による(別項)。
  - (七) 支部設立に要する書類は十二月初旬に各支部長あて送付。
  - (八) 各支部より本部宛報告書十二月末までに支部規定、会員申込書(維持員、特別賛助員、賛助員)名簿を報告する。
- 二、学校及び関係諸団体との相互研究会
  - (一) 対象 学校、日本国有鉄

### 信念と友情の団結に感激

— 設立総会に参加して —

茗溪会理事 岩下雄三

走らなかりましたことは私に

数の多きでなく出席された地区役員と本部役員との精神交流の温かさという暖かい雰囲気の中に、一種の殉教的感覚と信念の心理とを感得せしめられたのであります。

人の心に灯を点することは、利をもつて人を誘う打算的なやり方にくらべて数段と真摯なものである。いまま全修協を構成するメンバーが打て一丸となり、

が当面もつとも緊要のことと思

の馳走と申上げるのであります。